

「大切な水道を守ろう 未来へと」 水道週間に合わせ街頭活動

6月1日から7日までの水道週間に合わせ、国見町では6月2日、コープふくしま国見店とJR藤田駅前街頭活動を行いました。村上町長と町上下水道課の職員が来店者などにチラシとポケットティッシュを配りながら、節水などを呼びかけました。また、道路で不自然に濡れている箇所を発見したら町上下水道課まで連絡してほしいと呼びかけました。



来店者に節水を呼びかける村上町長

読書環境の充実のために 福梁製作所が図書券を寄贈

株式会社福梁製作所（高橋守代表取締役）は6月9日、国見小学校児童の読書活動推進のため、図書券10万円分を寄贈し、図書委員会委員長の赤根大河さん（国見小6年）に手渡しました。高橋代表取締役は「子どもたちに本を通じて、教養や感性を育ててほしい。」と話されました。同社は図書の実用性に役立ててほしいと、令和2年度から国見小学校に図書券を寄贈しています。



赤根大河さんに図書券を手渡す高橋代表取締役（右）

子どもたちの手で育てた希望の花 人権の花贈呈式

国見小学校整美委員会の児童らは6月18日、国見小学校体育館で人権の花運動により育てた花を町に贈呈しました。この運動は5月28日に整美委員会の児童らと人権擁護委員の皆さんで取り組みました。児童らはマリーゴールド、ペゴニア、サルビアを丁寧に植え、まごころ込めて育てました。贈呈された花は国見町社会福祉協議会、公立藤田病院などに飾られました。



人権の花運動に取り組んだ児童と人権擁護委員の皆さん

町の特性を活かした施設を目指して 第1回国見町まちの駅設置検討委員会を開催

第1回国見町まちの駅設置検討委員会を6月19日、国見町役場で開催しました。

委員会はまちの駅の整備推進を目的として町内の商工業に従事する方などの8名で構成され、委員長は株式会社家守舎桃ノ音の上神田健太代表取締役が選出されました。今後、空き店舗の利活用も含めてまちの駅設置に向けた検討を進めていきます。



検討委員会の様子



東京ふるさと国見会を盛り上げる沢木順さん

東京で会員同士の親睦を深める 東京ふるさと国見会を開催

東京ふるさと国見会主催の講演会・総会・交流会が5月16日、東京都荒川区の日暮里ラングウッドで開催され、会員や来賓ら38人が参加しました。歴史講演会では鹿島神社例大祭などの町の祭礼の成り立ちを学び、総会では国見周遊ツアーなどの事業計画が承認されました。交流会では国見町応援大使の沢木順さんの講演や歌、地域おこし協力隊の活動紹介が行われ、町の魅力を再確認しました。

歌謡祭から届ける まちへのエール 桜歌謡会が町に寄付

桜歌謡会（阿部正幸会長）は5月28日に国見町役場を訪れ、町の発展に役立ててほしいとの目的で、町に41,463円を寄付しました。

寄付金は、5月17日に開催された「第13回桜歌謡祭」の出演者や来場者から募ったものです。贈呈式では阿部会長と主催者の川見金吉さんから村上町長へ寄付金が手渡されました。



寄付金を手渡す阿部会長（中央）と川見代表（右）

合併創立50周年の感謝を地域に 福島信用金庫が公用車を寄贈

福島信用金庫は5月29日、合併創立50周年を記念し、町に環境配慮型の公用車1台を寄贈しました。

国見町役場で贈呈式が行われ、樋口郁雄理事長が「皆様のおかげで50周年を迎えることができました。頻発する自然災害への対応などに役立てていただきたい。」とあいさつし、村上町長は「地域の振興のために有効活用します。」と謝辞を述べました。



車を寄贈する樋口理事長（中央）と坂内国見支店長（左）

子どもたちのために環境整備 アサヒ電子株式会社による奉仕作業

伊達市に本社を置くアサヒ電子株式会社は5月30日、社会貢献活動の一環として、くのみ幼稚園の園庭で除草作業を行いました。当日は社員45名が参加し、園庭内の草刈りや除草に協力して取り組みました。参加者の皆さんが作業を進めたことで園庭はきれいに整備され、園児たちが安全で快適に過ごせる環境が整いました。同社は地域とのつながりを大切にしながら、継続的に社会貢献活動に取り組んでいます。



園庭の除草作業をするアサヒ電子株の皆さん